

【概況】 7 月 27 日に行ったプランクトン調査(燧灘)の結果についてお知らせします。

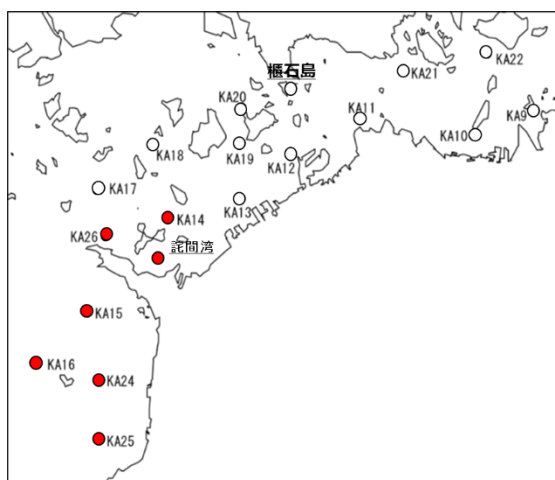
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ属(アンティカ、マリーナ、オバータ)が確認されました。最高細胞密度(3 種合計値)は 17.33 細胞/mL(定点 KA24)です。シャットネラ属は広範囲に確認されていますので、今後の情報にご注意ください。
- ・主な小型珪藻類はキートセロス属が 0~230 細胞/mL の範囲で確認されています。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 25~26℃、塩分は 30~31 の範囲で推移しています。
- ・燧灘沖合の溶存酸素(DO)は表層で約 5~8 mg/L、底層で 2.4~4.4 mg/L の範囲で推移しています。

表：2021 年 7 月 27 日有害プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ (区分不能)	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
KA14	0	0	0	0.33	0	0	0	0	0
	10	2.00	0	4.00	0	0	0	0	0
KA15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	1.33	0	9.33	0	0	0	0	0
KA16	0	0	0	0.33	0	0	0	0	0
	10	1.00	0	1.33	0	0	0	0	4
KA24	0	0.67	0.33	8.33	0	0	0	0	0
	10	9.33	1.00	7.00	0	0	0	0	0
KA25	0	0	0	2.33	0	0	0	0	0
	10	1.33	0	3.00	0	0	0	0	0
KA26	0	2.33	0	4.00	0	0	0	0	0
	10	1.33	0	7.00	0	0	0	0	0
詫間湾	0	3.00	0	4.33	0	0	0	0	0
	10	4.67	0	6.67	0	0	0	0	0

* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています(ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です)。

図：調査定点(備讃瀬戸・燧灘)



【参考】 香川県の有害プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL

* 赤潮定期調査(燧灘)は合計 7 定点 (KA14、15、16、24~26、詫間湾)で行っています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471